



◇トピックス◇

新年の御挨拶／第二回せいふうカフェ／せいふうクリスマス会／
島根県障がい者アート作品展／餅つき大会／通所のぞみグループ紹介他

新年のご挨拶

自立支援課長

恩田 直美



謹んで新春のお慶びを申し上げます。旧年中は、格別のご厚情を賜り、感謝申し上げます。

さて、昨年一月十六日に国内で初めて新型コロナウイルスが確認されたから一年が過ぎました。いまだ、非常事態宣言が続き、収束の兆しは見えません。この一年は、誰もが生活スタイルや日常の行動を変えざるを得ず、我慢の一年となりました。

その中で、ご利用者の皆様が楽しみにされていた行事や外出が難しくなり、職員は、改めてどうしたらご利用者の皆様が笑顔で過ごせるか、ということを考えることとなりました。日常生活の中に細やかな楽しみを加えたり、時には人との繋がりがりや関りを意識し非常日常を味わってもらったりと工夫をしながらせいふうカフェやクリスマス会、神楽上演、各ユニットでの行事を考え取り組みました。どの場面でも、ご利用者の皆様の満面の笑顔がその成果を表していました。

今後は、令和三年からの五か年の中期経営計画に基づき、将来にわたる成長と発展を見据えた職員の支援力の向上に励みつつ、職員とともに丁寧な支援を積み重ねていきたいと思っております。

なお、四月の異動時に、皆様にお顔を合わせてきちんとご挨拶ができておらず心苦しく思っております。園にお立ち寄りの際は、お声をかけて頂けると喜びます。



第二回せいふうカフェ

十二月二十四日に地域交流スペースでせいふうカフェの第二弾を行いました。今回はクリスマススイブの日ということもありクリスマスパーティーをコンセプトにしたカフェでした。会場をクリスマスカラーに装飾し、寄贈していただいた天然のモミの木をクリスマスツリーも飾りました。前回と同様にご利用者を二つのグループに分けてテーブルの間隔も開けるなど感染症対策に留意しながら実施しました。今回の模擬店のメニューは、ケーキ、虹色わたあめ、フライドポテト、ドリンクでした。会場のデコレーションに手を伸ばそうとされる方、ケーキのラベルまで舐めて堪能される方、サンタクロースの帽子を被っておどける方などそれぞれの楽しみ方で満喫されました。

喫茶の後には、それぞれのユニットでサンタクロースに扮した職員からご利用者様一人ひとりにプレゼントが手渡されました。皆様クリスマスを存分に味わった一日となりました。もみの木を寄贈していただいた松原様に改めてお礼申し上げます。



寄贈していただいたもみの木です

サンタに扮した職員がプレゼントをお渡ししました



クリスマス会(障害者地域生活支援センターせいふう)

十二月に入るとすぐに、ご利用者の皆様でホールの飾り付けを行い、クリスマスムード満点の中当日を迎えました。

クリスマス会では、職員によるハンドベルから始まり、フラワーアレンジメント、カラオケ、紙芝居の披露やケーキなど、皆さん笑顔いっぱい時間を忘れて楽しまれました。



くじ引きで籠を当てました♪



この日のために利用者様が紙芝居を全て手作りされました。

職員によるハンドベル



クリスマス会を終えて、ご利用者が句を詠まれました。それぞれに花を飾りて待つ聖夜

地に満ちる

祈りの声や

クリスマス

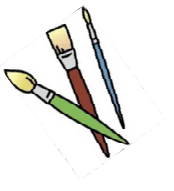
フラワーアレンジメント



島根県障がい者アート作品展

令和二年度の島根県障がい者アート作品展では清風園からも多くの方が作品を応募しました。銅賞が一名、佳作が三名、計四名の方が入賞されました。今回は銅賞を授賞されたYさんのご紹介です。観ているだけでほっこりするこの絵ですが、一つ一つお顔が違う、まるで世界遺産 石見銀山の「五百羅漢」のようです。

審査員からも「様々な表情が観られ、それぞれに異なった思いを込め描かれていると思えますが全てに優しさが感じられ心が和みます。」と嬉しい講評をいただきました。

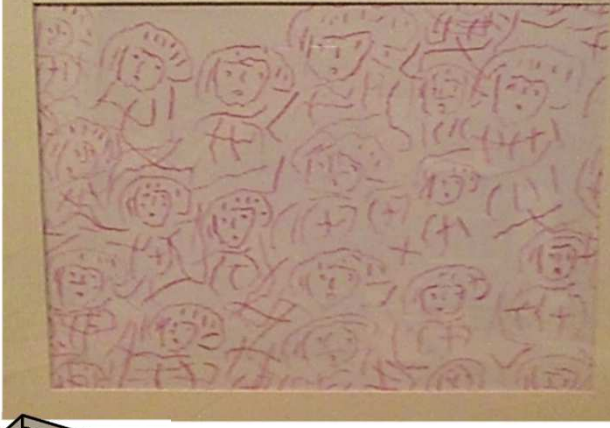


授賞式では、壇上にながられた後、まっすぐと県知事席に向かわれ、堂々と着席。会場中の笑いを誘っておられました。どこへ行っても、周りの人の心を和ませる力を秘めているYさんです。同行した支援員も、終始ほっこり楽しい時間を過ごさせてもらいました。

銅賞

タイトル

「やっちゃんの五百羅漢」



丸山知事と記念撮影

餅つき大会

十二月十六日、年末恒例の餅つき大会が交流スペースで開催されました。各ユニットから沢山山参加していただき、感染予防対策のため、皆様慣れないマスクを着用しての会となりました。付き手のご希望がいつになく大勢で、列を作って順番を待っておられる姿は、なんとも微笑ましかったです。「よいしょ、よいしょ！ぺったん、ぺったん！」くる年も、元気で良い年になりますように。



ボランティア紹介

へすみれ会

すみれ会の皆様には、昭和五十四年五月から、約十二年という長年に渡り活動を支えていただいています。昨年度まであった就労継続支援B型事業では、商品を作成していただき、ふれあい祭りや地域のイベントなどへ出店してきました。また、これまでご利用者へ刺繍を教えてくださるなど関わっていただいています。今年度からは、通所のぞみグループのボランティアとして、引き続きお手伝いさせていただきます。これまでのお礼の気持ちにかえご紹介させていただきます。



通所のぞみグループ紹介

就労継続支援B型は令和二年度より生活介護へ移行し通所のぞみグループとして新たに始動しました。

利用者の構成としては、グループホームより五名、在宅より三名の通所利用の方と清風園入所者の方六名を合わせた十四名の方が所属しています。

活動拠点としては、清風園敷地内にある活動室へと移りました。主な活動としては、これまでも行っていた自動車部品の組み立て、農耕作業を継続しています。また生活介護となったことで、作業だけではなく切り絵、スクラッチアート等の余暇活動や歩行運動を目的とした散歩等を一日の流れに組み込んでいきます。

手先が器用で細かな作業に優れている方や農作物の園内販売でのリップサービスが上手な方などそれぞれが得意なものを持っておられます。今後も利用者の好きや得意を伸ばしながら楽しく活動していきたいと思えます。



お悔み



長年、清風園家族会役員としてお世話になりました佐川安弘様が、令和三年一月二十八日にご逝去されました。平成十九年から一年間理事をお勤めになられ、その後、会長職を五年、副会長職を五年と十一年間にわたり家族会の活動にご尽力いただきました。この場をお借りして、お礼申し上げますとともに、心よりご冥福をお祈り申し上げます。ありがとうございます。

編集後記

本誌をもちまして今年度のさんべっこの発行は最後となります。昨年度からさんべっこの編集者として広報活動に携わってきましたが、今年はいくつの変化を強いられ我慢の続いた一年だったと感じています。しかし、その中でも「アマビエ」(作品はホームページに記載)や「あわせの鳥」などの作品が生まれ、島根県障がい者アート作品展では多くの作品が入賞しました。中止になった行事に代わるイベントも毎月のように実施され、中にはこれまでにないユニークなものもありました。今後も新たな生活様式を導入しながら楽しい日々を取り戻していきたいと思えます。

お知らせ

〈大田市観光協会〉

大田市観光協会を通じて、手ぬぐいやガーゼハンカチ等の商品を石見銀山や大田市駅の売店で販売をしていただきました。昨年度末で就労継続支援B型事業が終了した事もあり、今年度末で納品を中止することになりました。これまで多くの方々に商品を手取る機会を提供していただき厚くお礼申し上げます。

